

紫雲寺商工会景況調査報告書

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 紫雲寺商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 15 事業所 (うち小規模事業者数 15 事業所)
ウ 回答企業数 15 事業所 (うち小規模事業者数 15 事業所)
(回答率 100.0%)

(2) 調査対象期間

平成29年7月～平成29年12月
(調査時点 平成29年12月1日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	3	20.0%	3	20.0%
建設業	4	26.7%	4	26.7%
卸・小売業	5	33.3%	5	33.3%
サービス業	3	20.0%	3	20.0%
合計	15	100.0%	15	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

地域全体の景況が良くなっている印象はないが、広告宣伝等に力を入れている事業所は成果が出ている。特に「ものづくり補助金」「持続化補助金」を活用している事業所は新規顧客が増加している事業所が多い。今回の調査では、当知育においても「募集しても人が集まらない。」との声が多くなっている。

【後継者の状況】

約半数の事業主が後継者ありと回答した。しかし、後継者教育をしている事業所は少ない。当会としても事業承継支援を重点的に行う予定である。

後継者 あり	8事業所	53.3%
後継者 なし	7事業所	46.7%

【売上高】

売上高は同年前期比、前期比と比べ売上が増加している事業所が若干多かった。増加している事業所はいずれも補助金等を活用している事業所であった。しかし、今後の見通しについては、厳しい見方をする事業所が多かった。ドラッグストアの新規出店、ふるさと納税の返礼率の減少等により売上が減少する見方をする事業主があった。

前年同期比

増加	不変	減少
6	5	4

前期比

増加	不変	減少
8	6	1

今後の見通し

増加	不変	減少
5	4	6

【採 算】

売上と同様の傾向を見ることができた。一部業種では材料の価格が値上されており、今後利益の悪化が危惧される。

前年同期比

好転	不変	悪化
6	5	4

前期比

好転	不変	悪化
7	7	1

今後の見通し

好転	不変	悪化
5	3	7

【仕入単価】

「不変」が多かったが、一部の事業所では「板金」「エンジンオイル」等が増加しており利益を圧迫している。との回答が多かった。今後についても幅広い分野の材料等が値上されるとの報道もあり、利益を圧迫することが考えられる。

前年同期比

上昇	不変	低下
4	10	1

前期比

上昇	不変	低下
4	9	2

今後の見通し

上昇	不変	低下
6	8	1

【販売（客）単価】

すべての業種において「不変」との回答が多かった。売上が増加している事業所においては、客数が増加によるものが多かった。

前年同期比

上昇	不変	低下
3	10	2

前期比

上昇	不変	低下
2	12	1

今後の見通し

上昇	不変	低下
3	9	3

【資金繰り】

資金繰りについては、「不変」の事業所が多かった。経営状況が厳しい中、借入を控え手許資金で何とか経営を継続している事業所が多かった。

前年同期比

好転	不変	悪化
2	13	0

前期比

好転	不変	悪化
1	14	0

今後の見通し

好転	不変	悪化
1	12	2

【雇用動向】

多くの事業所は、経費を増加させないよう雇用を控えている事業所がほとんどであった。従業員を募集している事業所についても、人が応募してくる見込みがなく採用できないのではないかと回答があった。一部では、外国人研修生を検討している事業所もあった。

前年同期比

増加	不変	減少
1	14	0

前期比

増加	不変	減少
2	13	0

今後の見通し

増加	不変	減少
0	15	0

【景況判断】

景況判断としては、「あまり変わらない」と考えている事業所が多かった。しかし、今後については、先行きが見えないとの意見が多く、設備投資等を躊躇している事業所が見受けられる。

前年同期比

好転	不変	悪化
4	10	1

前期比

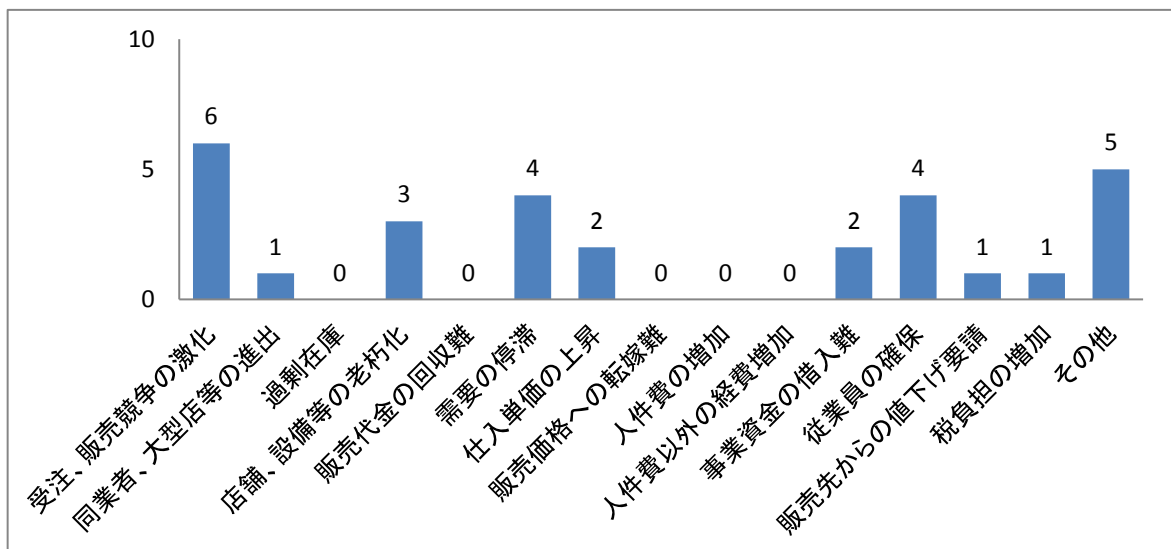
好転	不変	悪化
2	13	0

今後の見通し

好転	不変	悪化
1	12	2

【経営上の問題点】

ドラッグストアが当地区に進出予定であり、「受注・販売競争の激化」を問題点としてあげる事業所が多かった。しかし、仕事はあるが、従業員が確保できず受注できない事業所や仕事は増加傾向であるが今後の見通しが立たず、設備投資に躊躇している事業所も見受けられた。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

全体的には厳しい状況が続いているが、一部では売上が増加傾向にある事業所が見受けられた。既存の商品のみを取扱っている事業所は売上が減少傾向であるが、定期的に新商品を販売している事業所は売上が増えている事業所もあった。

(2) 建設業

売上微増の事業所が複数あった。いずれも、チラシ広告、ソーシャルメディアを活用しての販路開拓、展示会等に出展しての情報発信を行っている事業所であった。また、このたび調査した事業所は、いずれも「従業員を募集しているが人が集まらない。」と回答した。そのため、「仕事が受注できない。」「外国人の採用を検討している」等の回答があった。

(3) 卸・小売業

平成30年春、県外のドラッグストアが当地区に進出予定である。面積はそれほど大きくないが、既存店では日用品、医薬品等さまざまなものを扱っているため、小売業者等には脅威となっている。また、一部のふるさと納税の返礼品を取扱っている事業者は返礼率の減少により、取扱の減少を危惧している。

(4) サービス業

紫雲寺地区の住民をサービスの対象としている事業者が多く、高齢化による人口の減少等により売上の減少を見込んでいる事業所が多い。
一部の理容店等は店舗改装、新たなサービスの提供により客単価を増やし売上増加している事業所があった。

(様式⑤)

No.	
-----	--

景況調査ヒアリングシート（平成29年度）

調査対象期間 平成29年7月～12月
(調査時点 平成29年12月1日)

商工会名	商工会	担当職員名	
企業の概要	業種	1:製造 2:建設 3:卸・小売業 4:サービス他	
	従業員数	1:0人 2:1人～2人 3:3人～5人 4:6人～20人 5:20人超	
	企業区分	1:小規模事業者 2:小規模事業者以外	
	後継者の有無	1:有 2:無	

(1) 貴社の状況についてお答えください。(該当する番号に○を付してください。)

	前年同期(H28年7～12月)と比較して	前期(H29年1月～6月)と比較して	今期(H29年7～12月)と比較した来期(H30年1～6月)の見通し
売上	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
採算(経常利益)	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
仕入単価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
販売(客)単価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
資金繰り	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
雇用動向	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
景況判断	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化

(2) 貴社の経営上の問題点(下記より上位3つまでを選び、○を付してください。)

- ①受注、販売競争の激化 ②同業者、大型店等の進出 ③過剰在庫
④店舗、設備等の老朽化 ⑤販売代金の回収難 ⑥需要の停滞
⑦仕入単価の上昇 ⑧販売価格への転嫁難 ⑨人件費の増加
⑩人件費以外の経費増加 ⑪事業資金の借入難 ⑫従業員の確保
⑬販売先からの値下げ要請 ⑭税負担の増加
⑮その他 ()

(3) 今後の事業・経営において強化したい点(設備投資・販路開拓等)

--